

記者発表資料

令和2年2月20日（木）

日高市

担当教育部 学校教育課 学務担当

Tel.042-989-2111 内線 5521

担当者職・氏名 課長 野村 弘人

コミュニティ・スクールを基盤とした 小中一貫教育を開始します

概要

日高市では、小学校1年生から中学校3年生までの9年間を見通した教育課程を編成し、児童生徒の確かな学力と自立する力の育成を図るとともに、地域の良さを生かし、地域とともに歩む学校を創るため、令和2年度から「コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育」を全ての小・中学校区で開始します。

コミュニティ・スクールについて

学校運営協議会という制度を導入した学校のことをいいます。保護者や地域住民等の意見を学校運営に反映し、「地域とともにある学校」を実現するための有効な仕組みです。

日高市では、各小・中学校区で1つの学校運営協議会を設置します。

小中一貫教育について

小学校から中学校までの子どもの成長を見通した教育内容を編成し、9年間一貫した教育を行うことをいいます。学校行事を小・中学校合同で行ったり、生活の決まりや授業の約束などを同じにしたりします。メリットとしては「学習意欲の向上や学習習慣の定着が進む」「授業の理解度が向上し学習に悩みを抱える児童生徒が減少する」「中1ギャップが緩和される（不登校、いじめ、暴力行為、中学校進学時に不安を覚える生徒の減少）」「自己肯定感が向上し思いやりや助け合いの気持ちが育成される」等が挙げられます。

学校施設について

令和2年度は、現在ある12校の小・中学校のまま小中一貫教育を進めていきます。その後、児童・生徒数の推移等を考慮し、武蔵台学校区は令和5年度から、高根学校区は令和6年度から、高麗学校区は令和7年度から「施設一体型小中一貫校」になる予定です。高萩学校区は、小・中学校を渡り廊下等であつなぐ「施設隣接型」に、高麗川学校区および高萩北学校区は現在と同じ「施設分離型」になる予定です。